

主な議案

平成27年度一般会計補正予算(第1号)

本補正予算は、平成26年度の決算をもとに、繰越金の整理等を行いながら、これに伴い確保される財源を活用し、保育園待機児童の解消や用地の購入など市の喫緊の課題等に対応するための事業を実施するものです。

歳出の主な内容としては、待機児童の解消に向けて、平成28年度に新規開設する民間保育園4園の建設補助を行います。また、小平第三小学校拡張用地を

購入します。健康・福祉の分野では、子宮頸がん及び乳がん検診の充実を図るほか、子ども・子育て支援新制度における公定価格の変更等による、私立幼稚園等に対する施設給付費を増額します。緑・環境の分野では、地域センター空調機器を高効率機種に交換するほか、公民館では照明器具を入れ替えて高効率化を図ります。また、特定財源を呼び込みながら、公共施設における太陽光発電装置の導入可能性調査を実施します。

都市基盤整備の分野では、市道の改修工事等を行い、安全で快適なまちづくりを進めます。そのほか、マイナンバー制度に係る個人番号カード発行の経

から4年連続して前年度を上回りました。歳出では、防災行政無線の改修や被災者用備蓄の整備、市民文化会館の施設整備、小川用水の親水整備、公共施設への太陽光発電設備の設置、小川西保育園の建て替えや小小学童クラブ

第二の開設、福祉関係の各種計画の策定、小・中学校各1校への特別支援学級の設置や学校体育館の防災機能の強化、都市計画マスタープラン改定への着手や小平都市計画道路3・4・23号線の整備、社会保障・税番号制度に関するシステムの構築や公共施設マネジメントの推進などを行いました。

財政状況としては、景気回復傾向の中で4年連続して市税収入の増がみられるなど、明るい兆しがみられるものの、民生費を中心とした歳出の増加が続

平成26年度決算特別委員会を 設置 (市長提案の説明要旨)

平成26年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月13日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

一般会計

歳入総額6百13億9千7百27万円、歳出総額6百1億3千9百56万円、実質収支は12億4千6百27万円となりました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税が、固定資産税の増など

費を増額するほか、新たに、女性のための再就職支援事業や2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業などを実施します。

補正額としては歳入歳出をそれぞれ22億9千7百57万3千円増額し、総額を6百24億3千6百57万3千円とします。

財源構成としては、事業の実施に伴い、国、都支出金及び地方債等を補正するほか、公共施設整備基金からの繰入金金を計上します。

個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人番号を含む個人情報である特定個人情報について、一般の個人情報より厳格な保護措置

を規定する、いわゆる番号利用法が施行されることに伴い、市が保有する特定個人情報についても同様の保護措置を講じるため改正するものです。

改正の主な内容は、特定個人情報、保有特定個人情報及び情報提供等記録の用語について、それぞれ定義を規定するとともに、これらの本人以外の者からの収集、目的外の利用等及び外部機関等と接続した通信回線による提供について、番号利用法に定められている措置と同様の内容になるよう規定を整備するものです。また、開示、訂正及び利用停止請求、開示及び訂正請求の移送、訂正した内容の通知、特定個人情報保護評価の第三者評価を実施するもの並びに

いており、依然として厳しい財政運営となっております。将来に向けて基金残高の回復に努めるとともに、債務残高を確実に減少させながら財政規律を守り、財政の健全性を確保しています。

【国民健康保険事業特別会計】 歳入総額百78億6千38万円、歳出総額百75億8千5百1万円、実質収支は2億7千6百36万円となりました。

歳入では、国民健康保険税が被保険者数の減少に伴い前年度に比べ2・1%、8千84万円の減となり、一般会計繰入金金は24億7千円となりました。

歳出では、保険給付費は0・4%、5千29万円の減となりました。また、高齢者医療や介護

保険制度への支援に充てる後期高齢者支基金と介護納付金は、高齢化が進む中でふえ続けており、合計で7千9百80万円の増

【後期高齢者医療特別会計】 歳入では、保険料が1億5千3百93万円の増、歳出では、広域連合に納付する療養給付費負担金が1億8百56万円の増となり、歳出総額は37億3千48万円となりました。

【介護保険事業特別会計】 第1号被保険者数は4万1千7百96人、要介護・要支援認定者数は7千5百59人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業特別会計】 歳出の9割以上を占める保険給付費が前年度に比べ4・2%の増となり、歳出総額は百12億5千9百3万円となりました。

【下水道事業特別会計】 下水道プランに基づき汚水整備及び雨水整備等に取り組んで

【委員会】 ○委員長 高槻 成紀氏

【副委員長】 ○副委員長 高槻 成紀氏

【一般会計決算特別委員会】 ○委員長 高槻 成紀氏

○副委員長 高槻 成紀氏

○委員 高槻 成紀氏

教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求め、議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

【後期高齢者医療特別会計】 歳入では、保険料が1億5千3百93万円の増、歳出では、広域連合に納付する療養給付費負担金が1億8百56万円の増となり、歳出総額は37億3千48万円となりました。

【介護保険事業特別会計】 第1号被保険者数は4万1千7百96人、要介護・要支援認定者数は7千5百59人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業特別会計】 歳出の9割以上を占める保険給付費が前年度に比べ4・2%の増となり、歳出総額は百12億5千9百3万円となりました。

【下水道事業特別会計】 下水道プランに基づき汚水整備及び雨水整備等に取り組んで

【委員会】 ○委員長 高槻 成紀氏

議案に対する各議員の賛否

9月定例会

会派名略称 政和：政和会(8) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 緑：緑の党こだいら(1…無会派) ()内は各会派の議員数

区分	議案番号	件名	政和								公明						フォ			共産		生ネ		賛成	反対	議決結果										
			小野 高	磯山 亮	伊藤 央	川里 春治	佐野 郁夫	永田 政弘	松岡 篤	宮寺 賢一	津本 裕子	虹川 浩	山岸真知子	浅倉 成樹	佐藤 徹	幸田 昌之	滝口 幸一	小林 洋子	石毛航太郎	竹井ようこ	中江 みわ	吉本ゆうすけ	佐藤 充				木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷 正	日向美砂子	平野ひろみ	さとう悦子				
議員提出	第10号	原発に依存しないエネルギー政策へ転換を求め意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	7	原案可決			
市長提出議案	第33号	小平市教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	同意		
	第34号	平成27年度小平市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	1	原案可決		
	第35号	平成27年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	
	第36号	平成27年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	
	第37号	平成27年度小平市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	
	第38号	平成27年度小平市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	
	第39号	小平市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	4	原案可決
	第40号	小平市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第41号	小平市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	4	原案可決
第42~61号	市道路線の認定及び廃止(16路線の認定、4路線の廃止)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	

※議長は表決に加わりません。